

みんなで取り組む

ふくしまっ子食育サポートブック

～幼稚園・小・中・義務教育学校・特別支援学校及び高等学校における食育の推進～

I 研究の趣旨

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための外出自粛や活動制限、「新しい生活様式」による変化により、運動する機会や活動量が減少し、「令和 3 年度学校保健統計調査」において、本県は 5 年ぶりに男女とも全年齢において、肥満傾向児の割合が全国平均を上回りました。

このような実情を踏まえ、幼稚園、小学校の時期の食育を基礎に、中学校・高等学校の時期においても健全な食生活を営むことができる判断力を十分に培い、望ましい食習慣を身に付けることは、その後の人生全体を通じた健全な食生活や健康管理、健康の保持につながるものとして非常に重要です。

本教材は、本県の「ふくしまっ子食育指針」や「自分手帳」を踏まえ、幼稚園・小・中・義務教育学校・特別支援学校及び高等学校における食に関する指導に活用できる教材として作成しました。本教材を用いて、学校給食の時間を始め、各教科及び特別活動等、あらゆる教育活動において食に関する指導を実践することにより、学校における食育の推進を図り、食に関わる資質・能力を育成したいと考えました。

また、児童生徒が食に関する理解を深め、日常の生活で実践していくことができるようになるためには、学校と家庭との連携を密にし、家庭において食に関する取組を充実することも大切です。

そこで、学級担任を始めとし、食育推進コーディネーター、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員等が活用できる保護者向け資料も掲載しました。

本教材を用いて、保護者対象の食育講話の実施や、食育だより等を配付することにより、児童生徒が学校で学んだことと、家庭における食に関する取組を関連付けることができます。

II 調査研究の内容

- (1) 子どもたちが望ましい食習慣を身に付けることができるように、校種別に学校給食の時間を始め、各教科及び特別活動等、あらゆる教育活動において活用できる食育教材の研究
- (2) 本県の「ふくしまっ子食育指針」及び「自分手帳」との関連を図った効果的な活用方法の研究

III 調査研究の方法

(1) 調査研究の期間

令和 3・4 年度の 2 年間とします。

(2) 調査研究の進め方

- ① 調査研究は班毎に研究内容を分担し、各班で研究した内容を全体会で協議してとりまとめるものとします。
- ② 調査研究は、必要に応じ、実態調査、先進地視察調査、専門的知見の聴取等を行います。
- ③ 専門的知見を聴取するための講演会等については、委員以外の学校給食関係者等の参加を認めるものとします。
- ④ 調査研究書は令和 5 年 3 月に研究報告書としてとりまとめ、栄養教諭・学校栄養職員をはじめ、学校現場及び学校給食関係機関・団体等に提供するものとします。

IV 本教材の活用方法

(1) 講話や全体指導



巻末の CD-ROM に、パワーポイントのデータが入っています。書きかえも自由自在なので、自校の実情に合ったものが作成できます。保護者対象の「給食試食会」や「食育講話」、高校生対象の「スポーツ栄養学」「一人暮らしの調理学」など、様々なテーマで作成されています。

(2) 給食時間の 5 分間指導や授業等



その日の献立に合わせて資料を選び、紙芝居形式にして給食時間の 5 分間指導に活用できます。また、各教科、特別活動などの授業の中で、教材やワークシートとして活用できます。

(3) おたよりや掲示資料等



本書のパワーポイントのスライドを給食だよりや掲示物としても活用できます。地場産物、マナー、栄養のバランスなど、様々なテーマで作成されています。

※ なお、詳細については、各章の「活用方法について」をご覧ください。



ご使用にあたっての注意

本書に収納している資料、パワーポイント等については、使用に際して下記のように制限を設けさせていただきます。

本書に掲載している全ての写真、イラスト及び CD-ROM に収納しているデータについては、児童生徒において教育目的としての学校内での使用であれば、ご自由にお使いいただけますが、下記の利用や学校外での使用はお断りいたします。

- ・ 商業目的
- ・ 研究発表目的の利用など
- ・ インターネットへの掲載